



みどりの風

公益財団法人
 奈良市生涯学習財団 月ヶ瀬公民館
 奈良市月ヶ瀬尾山 2815 番地
 TEL&FAX 0743-92-0346
 発行人 館長 上田 善紀
 発行日 平成28年5月10日(火) 第2号

こんな事業をしました

～竹の子掘りと山菜採り～

40分で99本の竹の子を

奈良市が主導する市民向け事業で、奈良市東部地域5つの各公民館（田原・柳生・興東・都祁・月ヶ瀬）が主催する、それぞれの地域の特色を生かした体験型事業「アクティブシニア農業体験事業 フチ田舎暮らし」があります。月ヶ瀬公民館では、年間3つの講座を予定しています。

これを機に、日本の原風景ともいふべき月ヶ瀬の里山で、豊かな風土と歴史に根ざした食・農・技を体験することで、市民に月ヶ瀬のすばらしさを実感していただくというものです。

前夜来の大雨が上がった4月28日（木）、市街地より月ヶ瀬入りしてきた16名のみなさんが、竹の子掘りと山菜採りに興じました。

竹林を提供してくださり、講師を務めた敷島栄作さん（月ヶ瀬）から竹の子の掘り方を教えていただいた後、思い思いの場所に向かいました。



↑にこやかに説明する敷島さん

「わたしの身長とおんなじだよ」



このあと一行は山菜採り。草はらひ一面のフタバ採りを楽しみました。

公民館に戻って、郷土料理愛好家の井本美貴さん（石打）が腕によりをかけた筍ご飯をおいしくいただきました。

まさに「竹の子三昧」の半日を満喫したみなさんは、どの表情も満足げにみどりが見え美しい月ヶ瀬をあとにしました。



西脇 勝征さん（石打）にも
 お力を貸していただいて持ち帰った
 99本の竹の子を並べました。

第2回目の企画は、6月24日（金）、梅の実取りと梅干し作りです。

募 集

茶芽っ子クラブ

小学生を対象とした
 参加型体験活動事業で

す。水曜の放課後や土曜に公民館でいろいろな体験をして楽しみます。

プログラム

■第1回：6月11日（土） 10時～11時

▽キッズピクスで体を動かそう

※音楽に合わせて簡単なステップでリズムをとるかっこいいダンス。

■第2回：7月16日（土）

▽竹細工とそつめん流し

■第3回：9月7日（水）

▽バルーンアート

※風船を使って花や動物などいろいろな造形を楽しみます。

■第4回：10月19日（水）

▽フロッカー

■第5回：11月9日（水）

※フロアで行うカーリング

■第6回：12月10日（土）

▽おもちゃつきに挑戦

○時間：水曜日 14時半～16時
 土曜日 10時～12時

※第1回は11時まで

○費用：材料費（実費）

5月21日（土）まで
 申し込みください。



月ヶ瀬薫風

それぞれのおうちでは竹の子の話題が食卓を賑やかせていることでしょうか。

しょう。それもつかの間、ぼちぼち梅とお茶の収穫の話に代わる頃でしょうか。私は、目下「歴史散歩 月ヶ瀬梅林」（稲葉長輝氏著）で「月ヶ瀬芋」を勉強中です。▼東部の公民館5館がそれぞれの持ち味を生かした館事業は、実は地域の方々のあたたかいご協力がなくては成立し得ないものです。あたらめて、このたびのお力添えに感謝を申し上げます。

情報の掲載について

この紙面を使って各分野で伝えたい情報や話題などがありましたら、公民館まで一報ください。次号以降で掲載させていただきます。

万青クラブ総会が盛会裡に

4月26日(土)、月ヶ瀬地区万青年クラブ総会が当公民館で行われ、約90人の参会者を得て1年間の取組が話し合われました。

冒頭、猪岡益一会長が熊本震災に触れ被災者への心配りした話をされました。長寿のみなさんの表彰などのあと、滞りなく議案が了承されました。最後は、南京玉すだれの演芸を楽しみました。

■会長・猪岡益一さんの話…年齢に関係なく、これからも月ヶ瀬の発展に役立つ万青クラブでありたいと思います。



粛々と進行する総会の様子



募集 月ヶ瀬女性学級

月ヶ瀬地区在住、在勤の成人女性なら、どなたでもご参加いただける「カルチャー教室」です。ちよつとめずらしい趣味に挑戦してみたいかがでしょうか。

みんなでわいわいと楽しく、日ごろのストレス解消のおまけ付きです。

プログラム

■第1回…8月20日(土)

▽プリザーブドフラワー

*ちよつとしたお祝いごとのプレゼン
トにおあなたのセンスが輝きます。

■第2回…9月10日(土)

▽タイトルクラフト

*あなただけのモザイクを楽しみます。
しゅじゅ。

■第3回…10月15日(土)

▽ヨーガ①

*からだもこころもしなやかに…

▽ヨーガ②



*時間…13時半～15時
*費用…材料費(実費)

7月20日(水)までにご
申し込みください。

月ヶ瀬小・中学生のみなさんへ

書く力を育てよう

現在の中学2年生が4年後に受けることになる大学入試の内容を大きく変えることを、文部科学省では現在検討しています。これまで実施しているマークシート方式ではできない記述式(文章)に書いて説明する(問題が国語と数学で導入されるようです)。

暗記したり公式にあてはめて解いたりするのではなく、自分の考えをわかりやすく書いて説明する能力が求められることとなります。

奈良県の高校入試でも十数年前より、少し複雑な課題の小作文の問題づくりがなされています。例えば、

▼中学校の部活動で、自分たちが使っている部室を掃除しようとして提案するAさんと、散らかした人が片づけるべきだ、私は散らかしてはいないと主張するBさんの間に立って、互いの意見いずれにも理解を示しながらあなたの意見を書きなさい。

といった問題です。みなさん、答えられますか？

紹介

「公民館のおばちゃんを夢みて」

4月27日(水)、月ヶ瀬まなぶ友の会(代表・中西武洋さん)が佐野万里子さんを招いて「わたしの活動するフィールド」と題して自身のこれまでの歩みや公民館の役割などを語っていただきました。

佐野さんは静岡県生まれ。社会教育に携わる進路を求めて、現在奈良市生涯学習財団 事務局統括主任として市内の全公民館運営を取り仕切る立場で活躍をしています。

昨年度の月ヶ瀬公民館は、梅の里学級や人形劇など11事業を展開してきましたが、認知度は高くはないようです。地域との密接な関係が不可欠であると考える佐野さんの話に、様々な活動を知っていただく努力をしていかなければならないと改めて思いました。

【世話人・西浦武男さんの話】…月ヶ瀬の活性化を考え、様々な分野の人材の協力を得て学びあう手作りサークルです。会報「月ヶ瀬まなぶ」も発行しています。ぜひご参加を。

6月の月ヶ瀬まなぶ会

- ▽時…6月21日(火)午後7時30分
- ▽所…月ヶ瀬公民館
- ▽講師…藤田 美佳さん
(奈良教育大学 特任准教授)